

第2回広告学会関東部会学生広告論文賞審査結果

過日行われた関東部会運営委員会において

学生広告論文賞の審査が行われ、次の通り各賞が決まりました。

金賞

佐久間梓、小林紗也加、宮田潤、山田偉久（青山学院大学）

「CSR 広告に対する原因帰属が大学生に及ぼす影響」

銀賞

龜山大樹、五十嵐怜、佐藤真紀（青山学院大学）

「『限定』広告キャンペーンが引き起こす大学生の敵意—オウンドメディアと心理的リアクタンスに着目して—」

銅賞

手塚瞳、浅井陽太、三宅真太郎、森戸理巳（慶応義塾大学）

「共感心理の広告効果及び共有・消費行動への影響」

保田彩見、太田啓斗、日下田吉隆、中山あずさ（青山学院大学）

「LINE のブロックはなぜ起こるのか」

佳作

岡田朋、磯村亮太郎、鯉淵正行（青山学院大学）

「ファッション製品における普及情報の提示効果—バンドワゴン志向・スノッブ志向の観点から—」

以上に加えて、惜しくも入選とはなりませんでしたが、今後の発展が期待できる論文に奨励賞を授与することとなりました。

奨励賞

宇田川駿、川崎歩実、鈴木美穂、関真史（立教大学）

「ブランデッドコンテンツ動画の効果解明」

岡田弘太郎、鈴木謙也、内藤怜央、八島卓也（慶應義塾大学）

「ネイティブアドの効果研究—広告の明示性と記事内に表示された SNS ユーザーによる『いいね』『シェア』『ツイート』数が広告効果に与える影響—」

遅澤康司、佐藤優希子、中川路資、中村朋絵（立教大学）

「YouTube TrueView 広告の効果解明—5秒で掴む、大学生を惹きつける動画広告とは!？」

一」

権純鎬、宇津木あかね、森重萌依（青山学院大学）

「インターネットサイトのコンテンツとバナー広告の関連性が持つ広告効果について—大学生に対して効果的なバナー広告の露出の仕方—」

佐藤亜美、梶田沙央理、谷本陵（青山学院大学）

「シェアされればそれで良いのか？」

塚本由香、片山詩織、館由依子（青山学院大学）

「声なくして、人が人を呼ぶ—視覚的なクチコミの可能性—」

別府菜々美、石崎篤佑、梅本啓太、久野美幸（専修大学）

「交通広告の媒体の違いに対する大学生の評価の分析」

渡邊峻、内山佳奈美、江塚弘汰（立教大学）

「精緻化見込みモデルの周辺ルートによる LINE スタンプの広告効果検証」

なお、1月19日（月）に開催される第1回関東部会の懇親会において、表彰式を行います。